

【アジア航空測量KK 提供】

## 最近の航空写真から (その1)

### 長野県茶臼山地スベリ地区

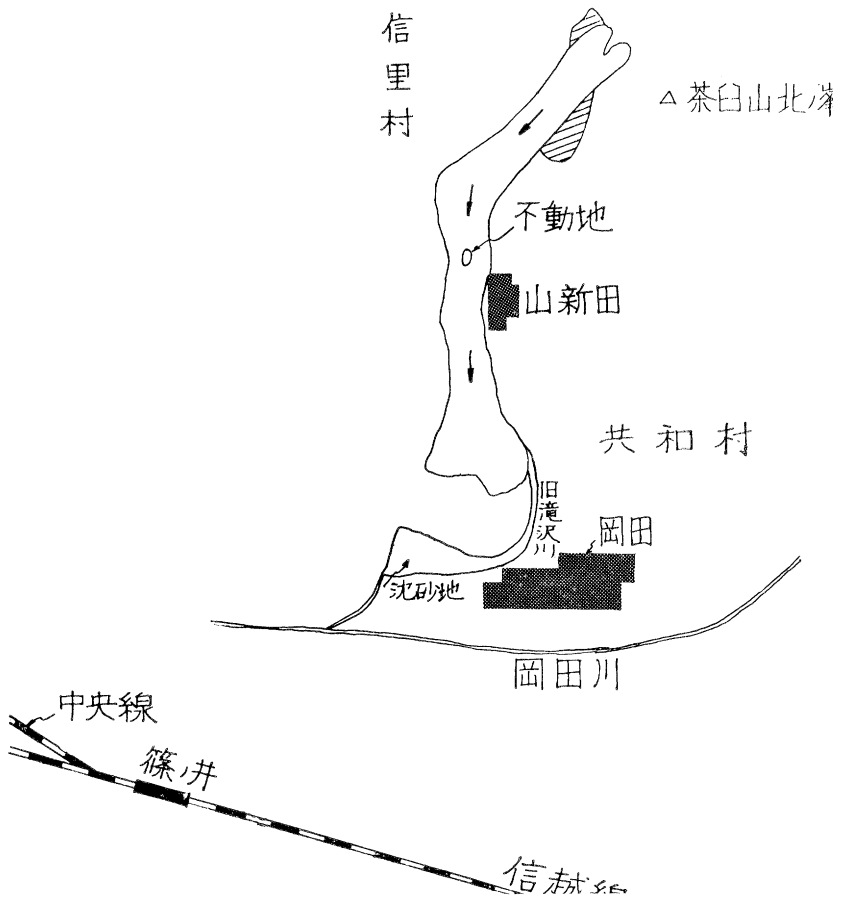
(1956年11月撮影)

**位置:** 長野県更級郡篠ノ井町(旧共和村)・信里村(信越本線篠ノ井駅下車)

**原因:** 地質は第3紀小川層に属し、水分を含めば滑動を起しやすいベントナイトを含み、地下水は豊富であり、これらの諸要素が原因となった。

**注:** 約100年前(善光寺地震)と推定され、活動が激しくなつたのは昭和5年頃で、最初の地スベリ地は不動地から山頂に至る約900m、現在は約1700m(年間約45m)で移動中である。

**対策:** 20年間にわたり種々の対策を講じたが決定的なものはなく、現在は旧滝沢川に沿って土堤をつくり岡田部落の被害をくいとめ、山頂部の排水用ボーリング工事を行つている。





【アジア航空測量KK 提供】

## 最近の航空写真から

(その2)

### 静岡県御前崎港

静岡県榛原郡御前崎町にある御前崎港の、防波堤による遮蔽効果を示しているものである。

本港は駿河湾と遠州灘を境する所であり、避難港として昭和23年より着工し、現在施行中のもので、要した事業費は約3億5400万円である。この防波堤の築造により従来絶えなかつた海難事故が非常に減少した。

防波堤の概要は次のとおりである。

延長：660 m

構造：コンクリート ケーソンによる混成堤

水深：最大 6 m

## ブラジルのパアロアフォンソ地下発電所

出力 現在 180 000 kW 将来 540 000 kW

【建設技術研究所 馬場宗光氏 提供】

